

野上動物園案内



動物園監督 石川千代
理學博士 松尾

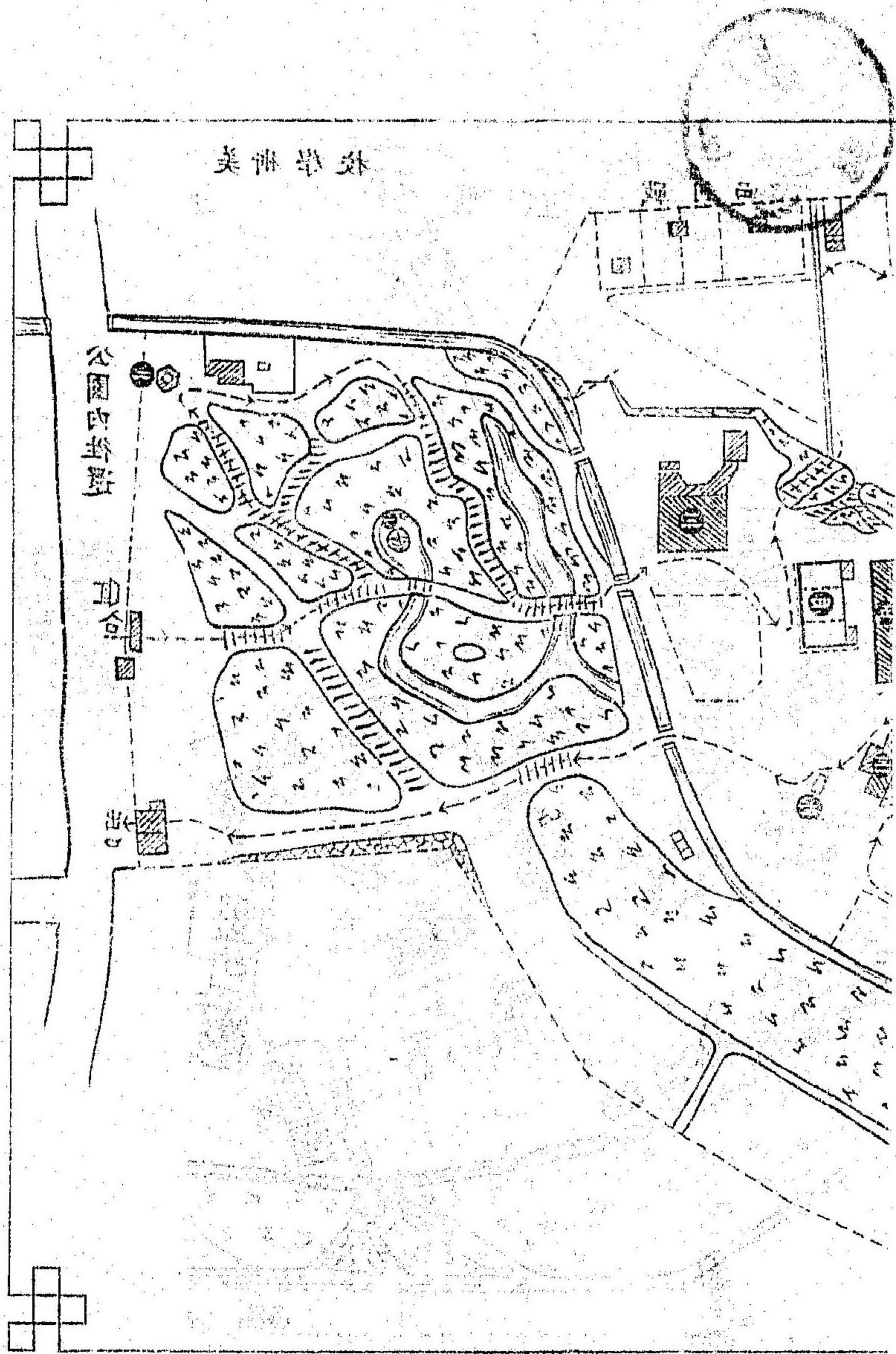
本園ハ東京帝國博物館ニ附屬シ、上野公園地字清水谷ト云フ處ニアリテ。明治十四年頃ニ設ケラレタ
モノデアル、今日トテツテ見ルニ、土地ガ狭クテ、又南ソ方ニハ大木ガ澤山アリテ、動物ヲ養フニハ餘
リ都合ノ好キ地デアナイカレド、別ニ好キ土地モナイカラ、先ッ此處デ出來ル丈ケノコトヲ爲シテ
居テ、段々ニ改良シテ行ク積デアル。

借テ此ノ案内ハ本園ノ入口カラ出口マデ指サシ圖ヲ示シテアル順序ヲ書イテアルモノデアルカラ觀覽
人ハ園内ニアル指サシ圖ヲ目當トシ又此ノ書ノ始メニアル地圖ヲ見合セ、ソリシテ此案内ヲ讀ンデ行
クハ宜ロシイノデアアルニ先ッ入口ヲ這入りテ眞直ニ行クハ路ノ右側ニ

○第一室

たんちやびる(丹頂鶴) The Sacred crane (*Grus japonicus* Mill.) ガアル此鶴ハまへりあノ

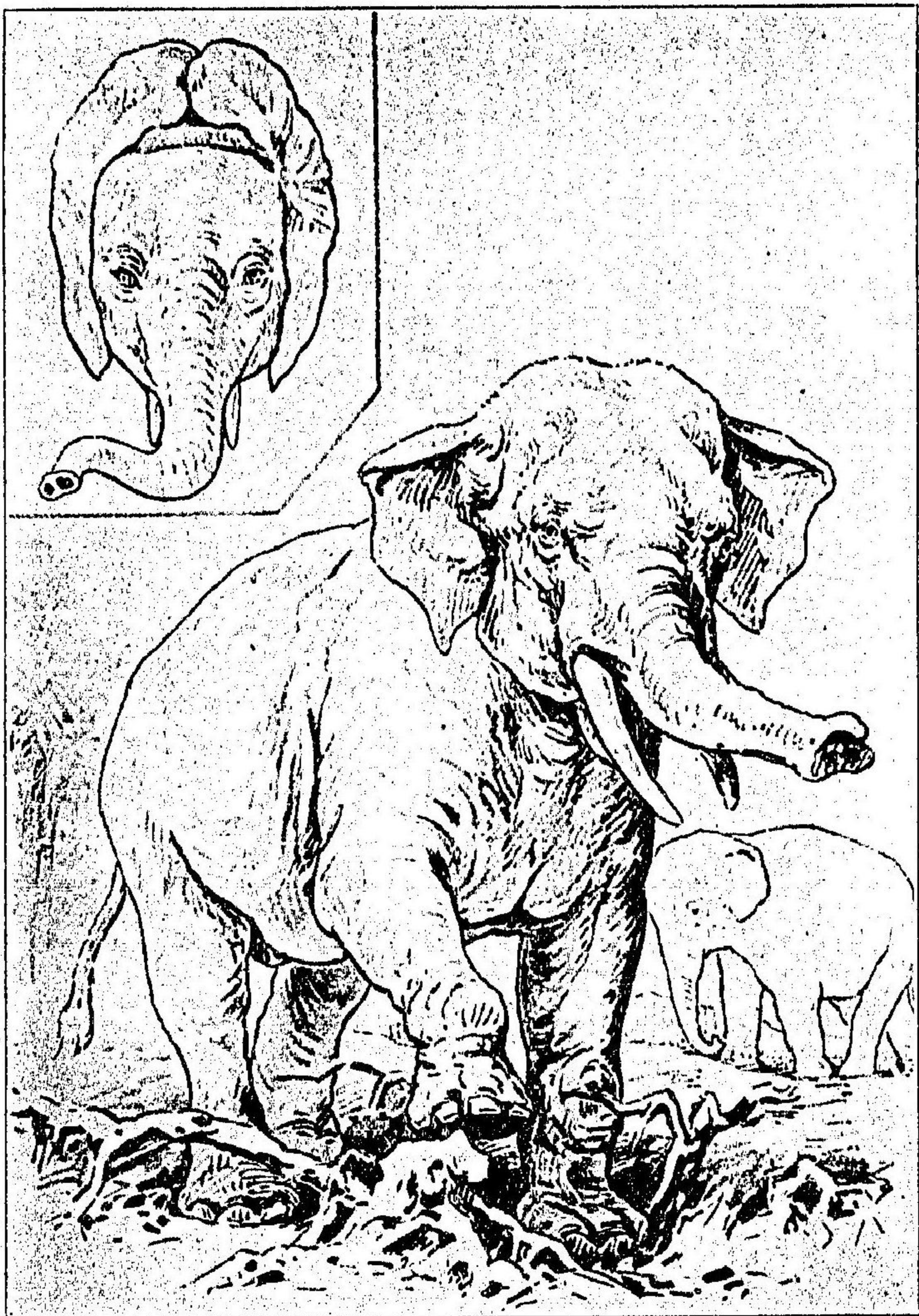
東部ニ産スルモノデアレドモ、秋ニナルト本邦ノ東北部ニ渡リ來テ、昔時カラ日本鶴ト云フテ有名
ナモノデアアル。今此室ニ養ツテアルモノハ皇太子殿下ノ御下付デ、朝鮮デ捕ヘタモノデアアル。
芝ノカラ右ソ方ニ曲ツテ斜メニ園ノ東北隅ノ方ニ行クト



○第二室 いんご室ガアリテ此處ニハ

をかめ *Sitta The Crested Parakeet* (*Callipitta us novae-hollandiae* Gm.) ガ入レテアル。總テあつむ、いんご類ハ熱帯地方ノ森林ニ住ム鳥類ヲ、あめりか洲ニ産スルモノガ中々多く、を、すとれりあ、まら、か等ニモ亦多ク産スルモノデアアル。をかめいんご、を、すとれりあ洲ノ中央部ニ大群ヲナシテ棲ンデ居ルモノデ本邦ニ多ク輸入サル、モノデアアル。今茲ニアルをかめいんごノ内一羽ハ明治二十三年ニ購求シタモノデ、他ノ四羽ハ本園デ生レタモノデアアル。之レカラ開々亭ト名クル休息所ノ前ヲ通りテ、第一室ノ側カラ橋ヲ渡ルト。

○第三室 象室ノ前ニ出ル。此室ニ居ル象ハ明治廿一年ニあむ國皇帝カラ我帝室ヘ寄贈ニナツタ *Siamus The Indian Elephant* (*Elephas indicus* Cuv.) デ、始メハ牝牡二頭デアツタガ、牝ノ方ハ不幸ニモ明治二十六年ニ病死シテ、牡ノ一頭丈ケガ今ニ残リテ居ル。總テいんど産ノ象ハ性質ノ温和ナモノデアアルカラ、人ニ使用セラレテ種々ノ用ヲシ、又見セ物杯ニ出テ齧テスルモノデアアルニ、此ノ象ハ甚ダ性質ガ好クナイノデ本園デモ先年カラ、其ノ性質ヲ直チサウト思フテ、既ニ明治二十六年ニハあむ國カラ、熟練シタ象扱人ヲ呼ンデ見タコトモアツタガ其扱人ハ此象ヲ見テ、此レハ狂惡ナ象ダカラ到底馴練スルコトハ出来ナイ、若シ本國ニ此様ナ象ガアルトキハ銃殺シテ仕舞フノデアアルト云フテ此象ヲ使用スルコトヲ非常ニ恐レテ居ツタ。夫レ故誠ニ残酷ナ様デアアルガ仕



第一版 1 いんどまじり、2 あふりかまじりノ頭

方ナシニ今アモアノ様ニ足ヲ結び付ケテアルノデアアル。

又象ハ現今陸ニ接ンデ居ル獸類デハ最も大キナモノデ極ク古イ時分ニハ種類モ多クアツテあろろー
ば洲ニモ居リ、日本ニモ其一種デ (*Elephas manadius Falc. and Camb.*) ト云フモノガ接ンデ
居テ、其化石ガ方々カラ出ルガ、今日デハ本園ニアル如キ印度産ノモノト、あふりか洲ニ産スルモ
ノ (*Elephas africanus Blum.*) トノ二種ガアルバカリデアアル。此案内ニ入レテアル第一版ハいん
ど産ノ象ガ其本園ノ森ノ中ヲ歩ルイテ居ル圖デ、参考ノ爲メ其側ニあふりか象ノ頭ヲ畫イテ置イ
ク。

象室ノ前ヲ過ギテ行クト

○第四室 ノ前ニ來ル。此ノ室ニ向フテ左ニハ

あやこぶあか (麋) *The Musk Deer (Moschus moschiferus L.)* ガ一頭畜フデアアル。此ノ獸ハ鹿ノ
種類デアアルガ、牝牡共角が無シテ、牡ニハ上顎ノ犬齒ガ能ク發達シテ、口ノ外ニ出テ、下腹ニ麝香
ノ穢ガアルノデ有名デアアル。其産地ハ中央あぶあデ、本園ニアルモノハ牝デ、朝鮮ノ産デアアル。此
ノ室ノ右ノ方ニハ

大かんがる *The Great Grey Kangaroo (Macropus giganteus Shaw.)* ノ牝牡ガ居ル。此
レハかんがるノ類デハ一番大キナモノデ、牡ノ大キナノハ五尺以上ニモナリ、其肉ハ中々美味デ

アルノデ、をすとりりあ洲アハ人民ガ多ク之ヲ食フト云フコトデアアル。總テ此動物類ハ餘程下等ナ
 獸類デ、其牝ノ腹部ニ囊ガ有ツテ、胎兒ハ外ノ獸類ノ様ニ胎盤ト云フモノヲ有タナイカラ、母体内
 ノ發生ハ甚タ不完全デ、生レルト直クニ此囊ノ内ニ入レラレテ、此處デ乳ヲ吸フテ生長スルノデア
 ル。目今本園ニアル獸類ア之レト同ク様ヲモノハ第七室(七ヘーヲ見ヨ)ニアルラをむぼつとト
 第一二室ニアルふあらんぶすと(第十五ヘーヲ見ヨ)デアツテ、此ノ類ノ獸類ヲ總稱シテ有袋類
 (Marsupialia)ト云マテをすとりりあ洲ニバカリ産スルモノデアアル。今此室ニアルかんがるウノ
 内牡ハ、御預品デ牝ハをすとりりあ洲めるぼーん動物園カラ寄贈セラレタモノデアアル。

此レカラ高臺ノ地ニ登ツテ斜メニ右ノ方ニ行クト美術學校ノ堺ニ沿フテ七ツノ獸室カ並ンデ居ル。
 此レ等ハ明治二十七八年ノ日清戦争ノ時ニ清國ト臺灣トヲ捕ヘタモノヲ御上ヘ献納ニナツテ、夫レ
 ナ常園ニ御預又ハ御下付トナツタノヲ入レテアルノデ。其内最モ右ノ方ニアルモノハ

臺灣産ノ**ぬが**、The Formosan Wild Boar (*Sus taiwanus* Swinhoe.)デ、次ギハ

きんぐ(四不俊) The David Stag (*Cervus davidianus* N. Edw.)デアアル。此**きんぐ**ハ滿洲
 地方ニ産スル鹿ノ類デ清國皇城ノ南苑ニ飼フテアツタノヲ板本子爵ガ同國ニ公使デアツタ時分ニ、
 同國ノ皇帝ニ請フテ牝牡二頭ヲ我動物園ニ寄贈セラレタモノデアアル、其後此二頭ハ老死シテ、其ニ
 出來タ牝一頭ガ今飼フテアルノデアアル。一牝此**きんぐ**ハ茲ニ入レテアルベキモノデハナケレド、

其隣室ニ飼テアル**すいんほー**氏ノ鹿ト或ハ交尾ヲスルコトモアランカト思フテ、此處ニ入レタモノ
 デアル。此**きんぐ**ノ隣、

すいんほー氏ノ鹿 Swinhoe's Deer (*Cervus swinhoei* Salater) デ臺灣産ノ牡一頭デアアル其隣
 ニアルノモ亦臺灣産ノ

臺灣**ふいり**が Formosan Spotted Deer (*Cervus pseudaxis* Eydoux & Souleyet) デ次
 キハ

清國産ノ**ぶた**ノ牡二頭又其次キノ室ハ

ぶたごぶらた (雙峰駱駝) The Bactrian Camel (*Camelus bactrianus* L.) デ、南方**まへり**

あカラたたりい、くりみあ邊ニアルモノデアアル、其地方デハ耕作其他種々ナコトニ使フモノデ、其

背ニ二ツノ突起ガアルノデ、**あひり**が**い**だ The common Camel (*Camelus dromedarius* L.)

ト區別スルコトガ出來ルノデアアル(第三圖ヲ見ヨ)。らんだ室ノ次ギニ

みうー The mule ノ牝一頭ガアル。此**みう**ート云フ獸ハ驢馬ノ牡ト牝馬トノ間ニ出來タ混合
 兒デ、驢馬ニ比ヘルト、身軀ガ大クテ力モ強イカラ、諸方デ之ヲ使用シテ居ル、ソーシテ此**みう**ー
 ーノ最モ面白イコトハ其子供ヲ産マナイコトデアアル。此レカラ斜メニ坂ヲ下ツテ、小サナ穴ノ様ナ
 處ニ入ルト、

○第五號室 觀魚室ガアル此レハ觀魚室ト云フケレドモ、古イ小サイ建物デ甚ダ不完全デ、其内ニハ
 きんぎょ、ひび、まこひ、ひぶな、ふなト大さんせう、をトガ入レテアル。此大さんせう、をハ又
 はなぢま(あんじ)はながす) The Giant Salamander (*Megalobatrachus sieboldi* Gray) ト
 モ云フテ、かへる、あもりノ類デアアルガ、古代ノ動物デ、あうろーばデハ化石トナツテ居テ、今日
 デハ本州ノ西南部ノ山間ノ溪谷ト支那ノ一小部トニ産スルバカリデ、大キナノハ四尺五寸以上ニモ
 ナリ、世界ニ有名ナルデアアル、觀魚室ノ裏ニハ蛇類ノ飼ツテアル

○第六號室 ガアリテ、目今チハ

652] The Japanese Viper (*Ancistrodon himoloffii* Boie.)

653] The Namera Snake (*Coluber quatrivirgatus* Boie.) トガ居ルケレドモ夏ニナルト外

ノ種類モ多シ入レルコトデアアル。此レカラ

○第七號ノ鳥獸室ニ移ルト。此ノ室ハ十七室ニ分ケテアリテ、蛇室ニ近イ方カラ始メテ行ケバ

(イ) ハ目今ハ何ニモ入レテナク、

(ロ) ニハ普通ノ

きつね(狐) The Fox (*Vulpes vulgaris* L.) ガ一頭居ル。此レハ誰レモ知ツテ居ルモノデアアルガ、北

半球ノ大部分ニ住ンデ居テ外國デモ誰レモ知テ居ル獸デアアル。



第二版

1 大かみがらち、2 同牝、3 ちをむはつと

2 1

3

(は)ニハ

あざくま(狸) The Japanese Badger (*Melis anakuma* Temm.) ノ牡二頭ア、一頭ハ茨城縣
デ、一頭ハ静岡縣デアル。

(じ)ト(は)トニハ

きりう(麋鹿) The Muntjac Deer (*Cervulus muntjac* Gm.) ノ牡ガ二頭居ル。此ノ獸ハ鹿ノ種
類ア、すまじら、じやわ、ほるねぎ、まれい半嶋、いんど、はいなん、臺灣杯ニ産スルモンデ、ひ
らまや山アハ三〇〇〇めーとるノ高サノ處ニモ産シ其躰ノ大サダノ、毛ノ色ダノハ産地デ少シダ、
ノ差違ハアレドモ、スメテ角ノ根ノ處ニ三寸餘毛ガアルモノデアアル。又性質ハ一般ニ柔順ダケレド
モ、急ニ怒ルコトガアルト云フ、本園ニアル二頭ノ内一頭ハ皇太子殿下ノ御下付品デアアル。

(く)ニハ

さんまお(山猫) The Sanmao (*Paralocurus*) デ二種アル、其一種ハ清國ノ産デ、他ノ一種ハ産
地不明デアアル。

(ぶ)ハ

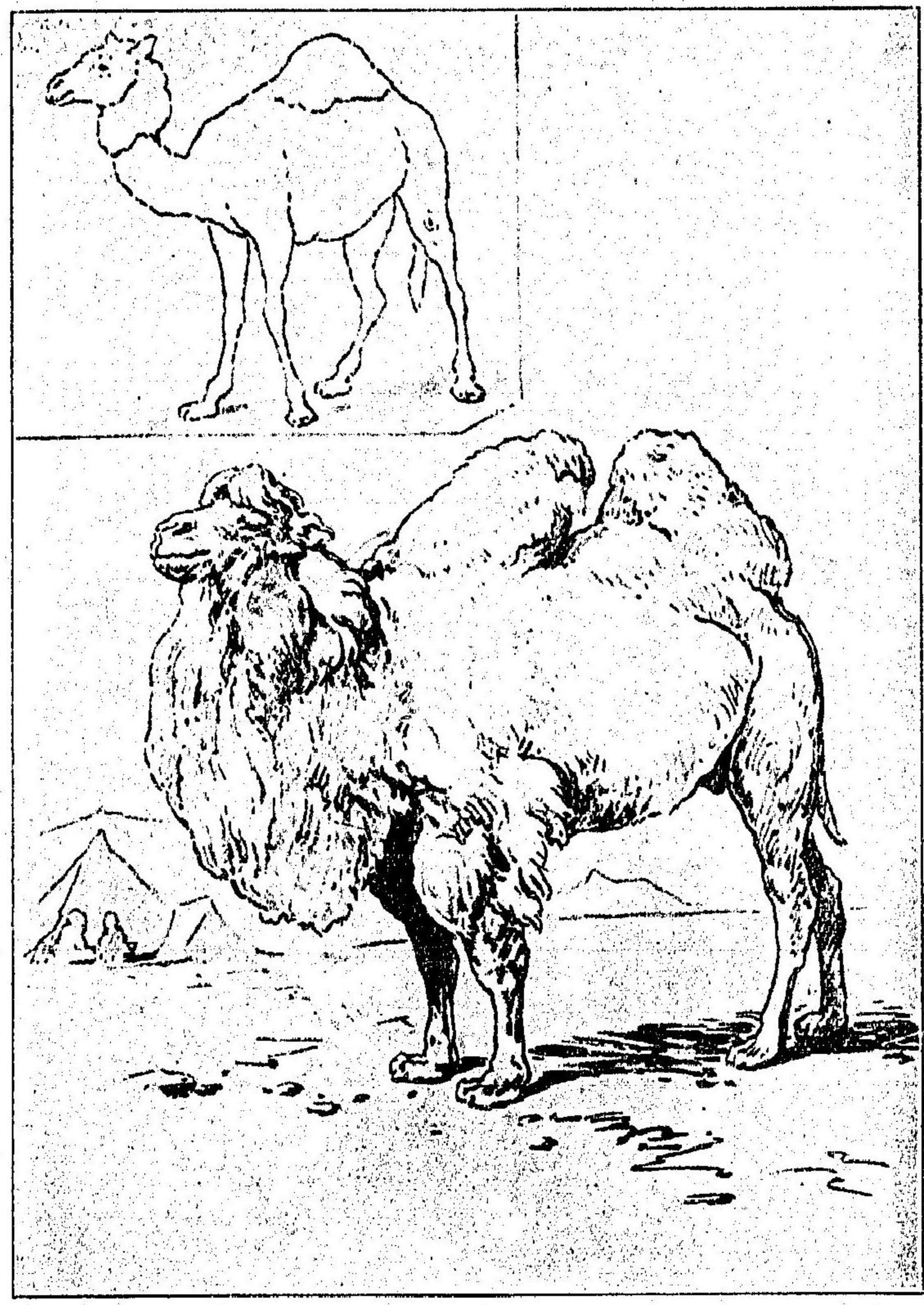
ふきぢぢい The Common Australian Wombat (*Phascogomys mitchelli* O.W.) デ、其外貌
ハかんがるートハ餘程違ッテ居ル様ダケレドモ、其牝ノ腹ニハ袋ガアツテ、其胎子ハ胎盤ガナイカ

ラ、第三ハニニ云ツタかんがるうノ様ニ此レモ無胎盤類ノ有袋類デアアル。
 うをむほつとハ夜獸デ、日中ニハ岩石ノ下ダノ洞穴ノ内ナドニ這入テ居テ、夜ニナルト諸方ヲ歩
 イテ、木ヤ草ヲ食フ。其産地ハぶちんでーめんすらんど、にうたうすうまーする等デ本園ニ畜フ
 モノハめるほーん動物園カラ寄贈セラレタモノデアアル(第二版ノ下ニアル圖ハうをむほつとデア
 ル)。

(カ)ニ、

め、SANSAN The Rose Cockatoo (*Cacatua roseicapilla* Vieill.) + まはだん The Sulphur
 Crested Cockatoo (*Cacatua galerita* Lath.) + 此レハを、すとれりあ洲ノ産デ、めるほーん
 ノ動物園カラ寄贈セラレタルモノデアアル。總テあまむノ類ハ熱帯地方ニ産スルモノデ、ふいりつび
 ーん、まれい群島、南洋諸島、南あめりか等ノ森林ノ中ニ群ヲナシテ棲ンテ居ルモノデアアル。

(リ)ニ、
 きほわじ(巻鷲) The Steller's Sea-Eagle (*Haliaeetus pelagicus* Pall.) ガ入レテアルガ、大キ
 ナカシデかむちやつかカラ北海道邊デ産卵シ、冬月ニナルト本邦ニモ時々渡ツテ來テ、重ニ海岸ニ
 近ヒ處ニ棲ンデ魚類杯ヲ多ク捕ヘテ食トス、之レハ(札)室ニアルをじろわしト大サモ羽ノ色モ一
 似テ居ルカラ之レト間違フ様ダケレトモ、其尾ノ形ト嘴ガ少シ大キイトデレト區別スルコトガ出



第三版 1ふたごぶらぐた、2あふりからぐた

1

來ル。

(ぬ)ニアル

いぬわし The Golden Eagle (*Aquila chrysaetus* L.) をほわしニ比マレバ小サイケレドモ中々大キナカシテ、あうろーは、あまぢの全部ニ産スルモノデアル、あふりかノ北部ニモ時々居ルコトガアル、甚ダ強イ鳥デ、主ニ深山ノ森林ニ棲ミテ、小サナ獸類ヲ捕ヘテ食フノデアル、又其をほわしト違ウ處ハ趾ノ先キマテ羽毛ガアルト、股ト躰ノ腹面トニ横ノ線カナインデアル。

(る)ニ

くまたか(角鷹) The Indian Crested Eagle (*Spizaeus nipalensis* Hodge.) ガ入レテアル。此ノたかハひまらやカラ南インド、せいろん、南支那、臺灣及日本ニ産シ、躰ノ腹面ト股トニハ必ス横線ガアリテ、又趾ノ先マテ羽ガ生ヘテ居ルノテ外ノたか類ト區別スルコトガ出來ル。

(き)

むらさこ又ハひんびどり(食火鶏) The Mooruk (*Gallus benetti* Gould.) デ此ノハ新ぶりたにちニ産シたちやう類ニ屬スルモノデアルガ、其翼ハたちやうノ翼ヨリ一層退化シテ居テ、又其足ノ趾ガ三本あるノデ、普通ノたちやうト區別スルコトガ出來ル。次ギノ

(わ)ニハ又

くろたかが一羽居ト。

(か)ハ目下空室ア。

(よ)ニハ本邦産普通ノ

鶉(雉) The Japanese Green Pheasant (*Phasianus versicolor* Vieillot.) ノ雌雄ガ居ル。

(た)ニ

朝鮮まがらろーガ二羽

(れ)ニ

きじらわし The White Tailed Sea-Eagle (*Haliaetus albicilla* L.) ガ居ル。此わし(リ)ニ

アノをほわしト同ツ位ノ大鳥マ、マハリ海邊ニ棲ンテ居ルモノナレトモ、山中ニ棲ンテ小獣ダノ鳥

ダノヲ捕ヘルコトカアル。此鳥ハ、いんぐらんどうカラまへり也、日本等ニ居ルモノデアル。

此レカラ直ク前ニアル

○第八號室ノ丸池ヲ見レハ、かん、かも其他主ニ水禽類カ養ツテアル、近頃此ノ内ニアルモノハ左ノ通

ソテ、其内

ウヅム(鵞) The Eastern Bean Goose (*Anser segetum serrirostris* Sw.)

かりがね(雁) The White Fronted Goose (*Anser albifrons* Scop.)

ちかひなと The Chinese Goose (*Anser cygnoides* Gmelin.)

せむぎと The Snow Goose (*Anser hyperboreus* Pall.)

は、はなと The Hutchin's Bernacle Goose (*Anser hutchinsi* Sw.) ハ日本ニ渡リ來ルガ

ニ類デアレヌ

かなだかと The Canada Goose (*Anser canadensis* Bon.)

まじまじと The Magellanic Goose (*Chloephaga magellanica* Gm.)

せじやふと The Egyptian Goose (*Chenalopex aegyptiacus* Wagl.) ハ外國ノガンデアル

せむたん(鵞) The Bewick's Swan (*Cygnus bewicki* Yarr.) ハ東半球ノ寒温帯ニアル鳥マ、冬

ニナルト本邦ニ渡來スルモノデアル、夫レカラかもノ類デハ

あなろ(鵞) The Mallard (*Anas boschas* L.)

あなろ The Dusky Mallard (*Anas zonorhyncha* Sw.)

あてんせじん The Tufted Duck (*Fuligula cristata* Leach.) ト、家禽デハ

あふろ(鵞) The Domestic Duck ハ、あなろヲ飼養シタモノマ

がてん(鵞) ハ、ちかひなとヲ飼養シタモノデアル、其外あひるノ類デア

せふたと The Muscovy Duck (*Cairina moschata* L.) ガ居ル。ちかひノ類デハ

ヌカヅ (丑鷺) The Little Egret (*Ardea garzetta* L.)

セシノウス (錦冠) The Night-Heron (*Nycticorax nycticorax* L.)

ヌツノユリ (鶴) The Japanese Stork (*Ciconia boyciana* Sw.) マ鶴類ニハ

たんちやちひる(第一ノ一ノ一ニ見ヨ)カ四羽ヲ其外室ノ内ニ又

つかひばと、ふじやふばと、どばと等ノはと類ガ入レテアル、此等ノはとハ皆

スわはと The Blue Rock-Pigeon (*Columba livia* L.) ナ飼養シタモノデアアル。茲ニ書キ並ハ

タノハ唯々鳥ノ名バカリテ之レヲ讀ンテ此室ノ内ニアル鳥ヲ眼デ區別スルノ用ニ少シモ立タヌコト
デアルケレドモ、大キナ處ニ一緒ニ澤山入レテアルノデアアルカラ、今ノ處デハ別ニ致方モナイ、イヅ
レ都合ガ出来タラ、各種ノ鳥ノ書ヲ室ノ前ニ出シテ觀覽人ニ便スル積デアアル。

此水禽室カラ西南ノ方ニ

○第九號室カアツテ、其東ノ方ニ、

ヌヤワノムシヤム The Javan Peacock (*Pavo muticus* L.)ガアル。此ノムシヤムハ、ムシヤムノ
さんしな、まれい半島トじやわ島ニ産スルモノヲ、いんどニ産スルモノ (*Pavo cristatus* L.)トハ其

羽ノ色ト其頭ノ上ニ立ツテ居ル羽ノ形トテ違フノデアアル。ムシヤムノ隣ニハ

ヌヤワ The Bantam Fowl、雌雄ガ居テ、其隣ニ

カシラヅツネ The Crowned Crane (*Balaelia pavonina* L.)ノ雄ガ一羽居ルガ、此レハ、ちやうり

カ、中央部ニ産スル鳥ヲ頭ノ上ニ立ツテ居ル羽毛ハ一寸目ニ付シモノデアアル。又其隣ニ

きんけい (錦雞) The Golden Pheasant (*Phasianus pictus* L.)ノ雌雄ガアル。此レハ俗ニから

ノにわとりト云フテ、支那西南部ノ山中ニ産シテ、實ニ美麗ナ鳥デアアル、此レモ雄ノ方ガ殊ニ美麗
デ、雌ハ夫レ程デモナイ。又鳥ノ内ニ雄ノ美麗ナノハ、此きんけいバカリデナク、ムシヤムモ、には
とりモ、其外あひる、かも、せじどりノ様ナモノモ皆同様デアアル、又此室カラ、西ノ方ニアル小サイ

○第一〇號室ニハ、皇太子殿下カラ御下付ニナツタ

日本ノサ (第三三ノ一ニ見ヨ)ガ居ル。此レカラ北ノ隣ニ

○第一一號ノ小禽室ガアル此處ニハ

ヤツメ (雀) The Tree Sparrow (*Passer montanus* L.)、キスセ (金翅雀) The Siskin (*Fringilla
gilla sylvus* L.)、カサセ The Chinese Green Finch (*Fringilla sinica* L.)、カシラ

(花鵲) The Brambling (*Fringilla montifringilla* L.)、カサシ (黄道眉) The Bon-
aparte's Japanese Bunting (*Emberiza ciopsis* Bp.)、カシラ The Siebold's Bunt-
ing (*Emberiza sulphurata* Temm. & Schleg.)、カシラ The Japanese Rose Finch
(*Carpodacus sanguinolentus* T. & S.)、カシラ (鶯) The Japanese White Eye (*Zosterops*

きながつも The Pintail (*Anas acuta* L.) ハンガムト同マ地方ニ分布シテ居ルモノ。
 きじどり (鶺鴒) The Mandarin Duck (*Anas galericulata* L.) ハ本邦ノ西南ノ部分ニ多ク居リ
 テ、夏ニハ北海道ニ渡リ。支那ノ中央部ト南部トニモ居ルモノデ、此レ等ハ夏ニナルトあむる地方
 ハ行クモノチアル。

きんぐろはじん The Tufted Duck (*Fuligula cristata* Leach.) ハ千島ニ棲住シテ春秋ニハ北海
 道ニ來リ、冬月ニハ本州ニ渡リ來ルモノデアル。此レ等ノかも類ノ外ニ又

ゆりかもめ The Black Headed Gull (*Larus ridibundus* L.) ハ嘴ト脛ト足トガ紅色デ、背ノ色
 ハ灰色デアル、夏ニナルト頭ガ黒藍色ニナル。

こぼん (紅冠水鶏) The Water-Hen (*Gallinula chloropus* L.) ハ北極ノ周圍地方ニ産シテ、本邦
 ニモ甚タ多イモノデアル。之レヲ見テカラ

○第一四號室ニ移ッテ見ルト、此ノ内ニハ種々ナ鳥獸ガ入レテアツテ、之レヲ東ノ隅ノ方カラ始メテ行
 クス

かむノま (鶇) The Magpie (*Pica canolata* Ger.)

わかぢはんかす、くす

しんせうだんせめくす、くす

おせだん The Great Red-Crested Cockatoo (*Cacatua moluccensis* Gm.)

Nだんせめくす、くす

Nだん The Long Nosed Cockatoo (*Linnetis pashinator* Gould.)

おかめくす、くす、くす類

おんせう

おんせう

おんせう (鶇) The Eastern Turtle Dove (*Turtur orientalis* Lat.)

くすだん (野鶇) The Common Indian Dove (*Turtur risorius* L.) ノせう類

おんせう (田頭鶇) The Brown Eared Bulbul (*Hypsipetes unguvobis* Temm.)

おんせう The Japanese Jay (*Garrulus japonicus* F. & S.)

Nおんせう (胡蝶鶇)

おんせう (相思鶇)

おんせう (鷹) The Feathered-Toed Scops Owl (*Scops semitorques* Temm. &
 Schleg.)

おんせう (鶇) The Small Japanese Sky-Lark (*Alandia japonica* T. & S.)

ぜんごん The Honey Buzzard (*Pernis apivorus* L.) 此レハ本邦デハ稀ナ鳥デ蜂其他昆蟲類ヲ

食フ故ニ此名ヲ附ケタモノデ全キハ一ハヨリキリ也、日本ニ産スルモノデアル。

うかる (鶯鷹) The Japanese Hawfinch (*Coccothraustes japonicus* F. & S.)

くろせんとびつち (黄鳥) The Black Headed Oriole (*Oriolus melanocephalus* L.)

かまのみ The Guinea Pig (*Cavia cobaya* Schreb.) 此レハ外國人ガエマ Marmots トハ全ク

違ツタ動物デアルケレバモ、本邦デハマウ云フ間違カラデカ、此ノぎにめ、ひんちもるも、ト云

フンデアル。

をほかわほり The Bonin's Rousette (*Pteropus pectyphon* Say.) 此レハ小笠原嶋ノをほかわ

ほりデ、ばなノ様ヲ植物ヲ食フかわほリノ類デアル。

はりねぢみ (猬) The Hedgehog (*Erynaeus europaeus* L.) 此レハ歐洲ノ全部ト北あまの大部

分トニ居ル食蟲類デ、其害蟲ヲ多ク食フガ故ニあまのりはデハ之レヲ保護スルコトデアル。

ねこノ類四頭、ノ内一頭ハ臺灣ノのねこデアル。

をながざる、此レモ臺灣ノ産デアルガ、未ダ種類ヲハッキリト區別スルコトガ出来ナイ。此レカラ池ノ

側ヲ通ッテ

○第一五號ノ馬室ニ行ケバ、茲ニ 御下付ニナツタ馬ガ二頭ト

うしうまガ一頭居ル、此うしうまハ何かノ混合見デアルタローガ往時カラ種々島ヲ飼養シテ居タノデ

アルガ、段々斃死シテ仕舞ッテ、此ノ節ニナツテハ此うしうま一頭キリニナツタノヲ加納鹿兒島縣

知事ガ本園ニ寄贈セラレタモノデアル。次ギニ

○第一六號室ニハ

洋犬 The Newfoundland Hound ガ一頭

を、すとりあノ野犬ぢんじー The Dingo (*Canis dingo*) ノ牡一頭、

るのぞ、 The Japanese Wild Boar (*Sus leucomystax* Temm.) 一頭、

うま牡一頭。此室カラ左ノ方ニ曲ルト

○第一七號ニあるガ數頭居ル。其一番始メニ居ルノハ讃岐産ノ

日本猿 The Japanese Ape (*Hans speciosus* Temm.) デ其他ノをながざるハ三頭ガ臺灣産

デ、二頭ガほるねをデ、一頭ガいたごデ、一頭ガまんがほるデアル。あるノ隣ハ

○第一八號ト第一九號デ

かそわり The Cassowary (*Casuarus galledulus* Bonn.) ノ雌ガ二羽飼ッテアル。(第四版)。

此レハ第九ページニ書イテ置イックむゝるくと同ク屬ノ鳥デ、成長スルト其羽ノ色モ變ルシ其頭ノ

上ニ高イ瘤ガ出来ル(第四版)。(かそわり)ノ居ル柳ノ側ニアル路ハ本園ノ事務所ニ行ク路デ、此ノ

路ノ南側ニハ

○第二〇號ノ柵ノ内ニたんちやうづるガ六羽トコウノとりガ二羽居ル。夫レカラ

○第二一號ニハをすとりあり産、

あみ、The Emeu (*Dromaeus novaehollandiae* Lath.) ガ三羽居テ、其内一羽ノ雌ハ、御預ク品デア

ル。此あみちモむらう、かそわりイト同ク様ニをすとりありあノ駝鳥デ。足ニ三本ノ趾ノアル

モノデアル(第四版5、6)。此室ノ裏ニアル第二三號室ハ目下ハ空室デ。此處カラ山ニ登ルト

○第二三號ノまか柵ガアル其内ニ

まか(鹿) The Japanese Deer (*Cervus sika* Temm.) ガ五頭アリテ、内一頭ノ牡ハ皇太子殿

下ノ御下付デアル。又此處カラ下ニ降リテ

○第二四號室ニ來レバ

だて(駝鳥) The Ostrich (*Struthio camelus* L.) ノ雌雄ガアル。此だてうハあふりかトあらび

あノ一部トニ産スルモノデ、前述ノあみう、むらう、かそわりイト同シク駝鳥類ニ屬スルモ、デ

アル、其翼ハ大ソ一退化シテ居テ、足ガ能ク發達シテ居ル。然シ其足ノ趾ハ二本デアル(第四版ヲ

見ヨ)○今茲ニ飼フテアル駝鳥ハ今年ノ始ニ、ト一所ニはんぶるゴヨリ取り寄せタモノデ、航海ノ途

中二三回暴風雨ニ逢フタ爲メ其羽毛ヲ害シ、其色ヲ失フタカラ、畫ニアル様ニ美麗デハナイガ八九月



第四版 1 だてウノ雄、2 同、雌、3 かそわりイノ雌、(此足ハ頭ニ比ブレハ大キ過ギル) 4 同、雄ノ頭、5 あみウノ頭、6 同、足

頃ニナルト充分ニ美麗ニナルト思フ。

駝鳥ノ類ハ、あふりかノ駝鳥トを、すとれりあ其他南洋ノ二三島ニ住ムをみう、むゝるく、かそわり
いノ外南あめりかニれあト云フモノガアリテ何レモ皆南半球ニ住ム鳥ノ類デアアル。

くまの The Spider Monkey (*Ateles paniscus* L.) ノ牡、南米をくわどーるノ産デ、あまぞー
んす地方ノ森林ノ樹上ニ棲ミ、之レヲ飼養スルトキハ能ク人ニ馴レテ、可愛ラシキモノデ、本園ニ
居ルモノモ黒川技手ニ非常ニ能ク馴レテ居ル。

うみがめ又ハせうがくほを (綠蠔龜) **The Green Turtle** (*Chelonia mydas* L.) ノ幼キモノニ尾。
之レハ小笠原島ノ産デアアルガ温熱兩帯ノ海ニハ何レノ處ニモ居ルモノデ、歐米ノ人ハ其肉ヲそぶ
トシテ賞味スルコトデアアル、小笠原島モ其肉ヲ鑑詰ニシテ生活ノ路ヲ立テルモノガ多クアル。

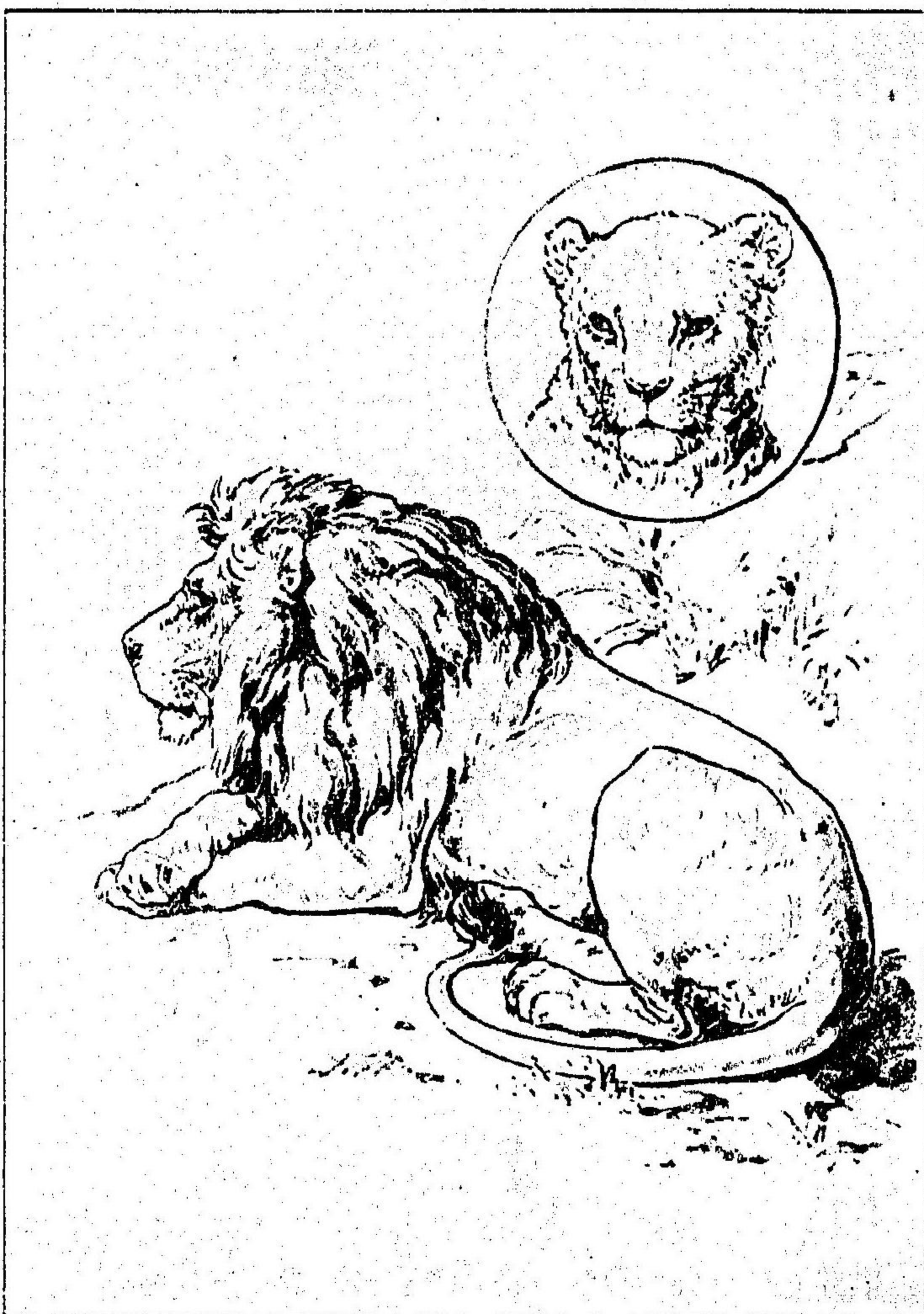
さんまー ノ牡一頭、臺灣産。

くじまんせ (*Crossarchus obscurus*) 西あふりかノ産。

きんかち **The Kinkajou** (*Ceropithecus candidulus* Illig.) 此ノハあらじるニ多ク産スル夜獸
デ土人ハじぢぢぢ又ハほらほらト呼ビ、くま類ノモノデアアルガ、其習性ハれむゝるニ似タ所ガアツ
テ、樹ノ上ニ棲ンテ居ル面白イ獸デアアル。然シ此ノ室ノ内ニアル動物デ一番人氣ヲ引クモノハ

た (獅子) **The Lion** (*Felis leo* L.) デアロウ、此獅子ハ今年ノ春はんぶるぐ市ノはーげんべー

くと云フ人ノ處カラ購ヒ求メタモノデアツテ北あふりか産テ獅子ノ内デモ最モ立派ナモノダト云ハ
 レテ居ルはーはりいらいさん The Barbary Lion デアル。
 志、ハねこ屬ノ動物デ、くま、いぬ、いたちノ屬ト同シク食肉獸 (Carnivora) ノ目ニ入り、其生産地
 ハあふりかノ大部分トあらびあトペルをあノ一部デ、其棲住スル場處ニヨリテ毛ノ色ダノ、頸ノ周
 圍ノ髪ノ長サ、ナドニ多少違イガアルケレドモ、去リトテ一ヶ處ニ居ルモノハ必ス同ジ様デアルト
 云フコトハ出来ナイモノデアルト云フコトデアアル。又其棲ンデ居ル所ハ森林ノ内ヨリハ反テ原野デ
 アツテ、灌木杯ガ生ヘテ居ル所ニ多ク居ルト云フコトデアアル。
 又志、ハ夜獸デ、日中ハ大概靜カニ休ンデ居テ、日没ニナルト、出掛ケテ來テ餌食ヲ捕ヘル爲メニ
 諸方ヲ徘徊スルモノデ、多クハ一疋ヅ、別々ニ徘徊シ唯々交尾ノ時ベカリ牝牡ガ一所ニ居ルト云フ
 コトデアアル。本園ニ居ル獅子モ常時ハ牝牡ヲ一所ニシテ置クケレトモ食事ノ時ニハ別ニシナイト喧
 嘩ヲスルユヘ檻ノ真中ニ仕切ヲ入レルコトニシテアル。
 志、ノ食物ハ固ヨリ生活スル動物デ、其内デモ獸類デ、じらふ、しか杯ノ野獸ガ多ク食トナルノデア
 ルガ、又人家ニ近ク來テ家畜獸ヲ捕フテ食フモノモアレバ、又人間ヲ捕ヘテ食フモノモアル、一度
 人間ヲ捕ツテ食フタモノハ兎角之レヲ捕ツテイケスト云フコトテ、此様ナ獅子ヲ人喰獅子 Man-
 Eater ト云フコトデアアル。



第五版 1 はーはりいらいノ牡、2 同牝ノ頭

然シ色々ナ人ノ話ヤ書物ヲ見ルト獅子ハ割合ニ温順ナ動物デモアリ、又不精ナ奴デ、からわん(あふりか、あしあ)ノ砂漠ヲ旅行スル商人、巡禮等ノ群)ノ跡ヲ付ケテ行ツテ其殘シタ物ヲ拾フテ食フト云フコトデアル。

然シ獅子ハ實ニ動物ノ王デアツテ其体格ガ立派デアルバカリデナク其聲モ大シタモノデ、牡獅ガ一度大キナ聲ヲシテ怒鳴ルトキハ、百雷ガ一時ニ落チ來ルカト思フ様デ、其間ヘル處ニ居ル動物テ恐レナイモノハナク、人間モ始メテ之レヲ聞クトキハ實ニ恐ロシイ感ヲ生スルモノダト云フ。本園ニ居ル獅子ハマダ四歳未滿デ、頸ノ周圍ノ毛色モ長サモ充分デナク、聲モ飼養サレテ居ルモノデアルカラ充分ニ發スルコトハナイケレドモ、夜分ニ吠ユルトキハ本郷ノ大學邊マテハ聞ユルトノコトデアル。又此ノ本園ノ獅子ハ本年四月上旬カラ交尾ヲシタカラ、遠クナイ内ニ子供ヲ産ムデアロウト樂ミニシテ居ル。其室モ目今ノハ眞ノ假リノモノデ狭イカラ子ノ出來ル時分マテニハ戦利品ノアル高臺地ノ上ニ檻ヲ新築スル筈ニナツテ居ル。え、テ見タラハ其前ニアル三室ノくまニ移リ

○第二五號室ニハ皇太子殿下ヨリ御下付ニナツク越後産ノ

日本ヒメ(熊) The Japanese Black Bear (*Ursus torquatus* Schinz. var. *japonicus* Schleg.)
ガ二頭居ルガ其内黒色ナノハ普通ノモノデ、白色ナノハ俗ニしらこト云フテ病的ニ皮膚ガ變シタノ

デアル。元來日本ごまハあしあ大陸ニ住ム黒ごま(第二七號室ニアルつきのおごま)ノ變種デ、耳モ月ノ輪モ朝鮮熊ニ比ラアレバ小サイノデアル。此ごまノ隣リニアルノハ北海道ノ

あかごま(熊) The Japanese Brown Bear (*Ursus arctos* L. var. *collaris*) 子、あしあろーは、あしあトあふりか三大洲ノ寒温ニ帯ニ産シ牝ノ長サニめーとる以上ニモナル大獸デ、カモ強ク、爪モ鋭クテ、樹ニモ登リ、水モ泳ギ、其食物ハ禽獸魚介又ハ野菜等デアツテ、山野ダノ海川ダノデ食物ガ乏シイ時ハ村落ニ出テ來テ耕作物ヲ害シタリ、人畜ヲモ捕ヘル。之レニ幾等モ變種ガアツテ、北海道ニ産スルモノヲこるらーリすと云フ。又其隣室ノ

○第二六號室ニアルノハ右ノ方ノハヤハリ北海道ノ

あかごまデ、左ノ方ノハ

あしあろーあかごま The Siberian Brown Bear (*Ursus arctos* L. var. *nomadis* Sibiricus) 子

びりかすと云フごまデアル、

○第二七號室ニアルニ頭ノごまハ右ノ方ノハ朝鮮産ノ

つきのおごま The Black Himalayan Bear (*Ursus torquatus* Schinz.) 子、あしあ大陸ニ産

スルごまデアル、前述第二五號室ノ日本ごま又ハ此ノ室ノ左ノ方ニアル越中産ノ

日本ごまト比ベテ其耳ト月ノ輪トノ違イヲ見ルベシ。



第六版 1 及び2はよく似た、つきのおごま、日本ごま

第二七號室ノ裏ニ

○第二八號室ガアリテ

ゐの志、ガ二頭居ル、一頭ハ土佐産ノ牝デ、一頭ハ安藝産ノ牡デアル。此牡ハ華頂宮家ヨリ御寄贈ニ
ナツタモノデアル、夫レカラ

○第二九號室ハ

やぎ(山羊) The Goat (*Capra hircus* L.) デ其内三頭ハ皇太子殿下ノ御下付デアル

○第三〇號室ニハ、御下付ノ

ふたごばらぐだ(驢) The Domestic Ass (*Asinus vulgaris* Gray) ト、本園ヲ産レタ

ふたごばらぐだ(第五) ベービチ見ヨ)ノ牝牡ガ居ル。此レカラ驢馬ノ運動場ノ前ヲ通ツテ

○第三一號室ニ來ルト又皇太殿下ヨリ御下付ニナツタ

北海道ノあかぐま(第二四) ベービチ見ヨ)ノ牝一頭ト

牡一頭トガアツテ、此ノ室ニ向フテ左ノ方ノ半分ニハ北極地方デ有名ナ

ほんきりくま(熊) The Polar Bear (*Ursus marinus* Desm.) ノ牝牡ガ居ル。此ノまゝニ

ノ内デハ最モ大キクナルモノデ、身ノ丈ケ三メートル近クニナリ、其腕力モ之レニ相當シテ強イニ
ハ中々恐ロシイ獸デアルト云フコトデアル、其住ンデ居ル處ハ北極ノ周圍デ氷雪ノ絶エナイ處ノ海

岸又ハ其邊テハ陸地ハアツテモ常ニ氷ヤ雪ヲ蔽ハレテ居ルエヘ、ツマリ氷雪ノ上ニ居ッテ、水泳ニ巧ミデ、らつこ、をつとせい杯ノ様ナ海獸ヲ捕ヘテ食トシテ居ルモノデアアル、其毛ノ色ハ白イケレトモ、此レハ本當ノ毛色デ、第二五號室ニアル日本ぐまノしらこトハ全く違ッタモノデアアルカラ之レト見違ウテハイケヌ。本園ニ居ルノハマダ小供デ、本年ノ始メニ獅子ト一緒ニ取り寄セタノデア
ル。此室ノ裏ニ小サイ

○第三二號ノ柵ガアツテ此内ニ

いしがめ (水龜) *The Marsh Tortoise (Emmys japonica Gray)*

やまがめ (秦龜) *The Reeve's Mountain Turtle (Damonina reevesi Gray)*

はこがめ (米國産)

りんぎんはこがめ *The Loo-choo Box Turtle (Cryptemmys flavonarinata Gray)* が飼マテアル。

以上ハ觀覽人ノ便利ノタメニ本園ノ案内トシテ大要ヲ述ヘタモノデ勿論未タ盡サヌトコロモアルシ又畜養シテアル動物モ不絶變更スルカラ退々ニ増補シテユク積テアル。

野上動物園案内終リ

明治三十五年四月三十日印刷
明治三十五年五月三日發行

正價金拾錢

東京帝室博物館

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地

印刷者 佐久間 衡 治

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地

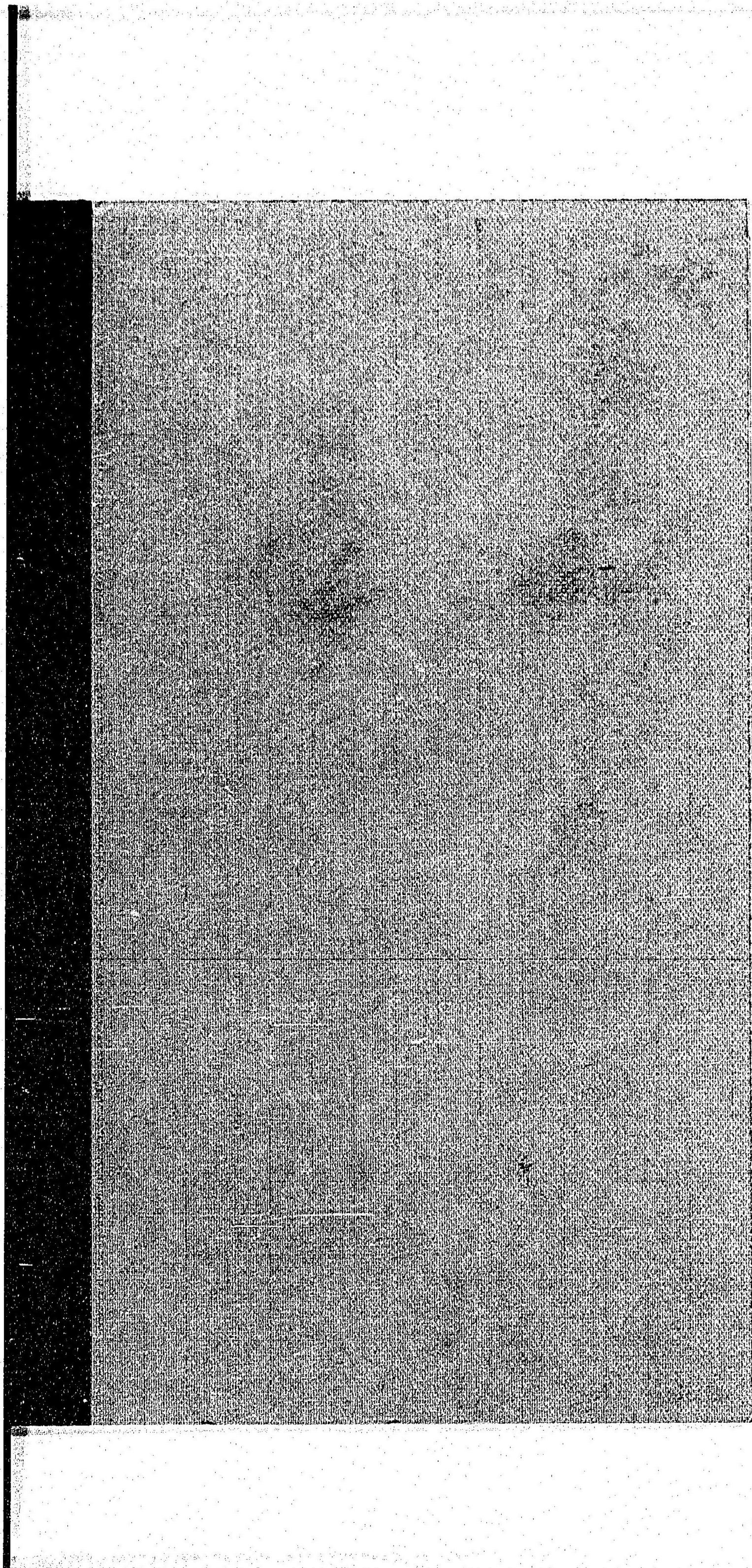
印刷所 株式會社 秀英舎 第一工場



92

182

98-36



92

182

上野動物園案内

国立国会図書館

057433-000-7

92-182

上野動物園案内

石川 千代松/述

M35

CAR-0001

